

2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 海 帆
代表者名 代表取締役 守 田 直 貴
 (コード番号：3133 東証グロース)
問合せ先 管理本部長 羽 二 生 博 志
 (T E L . 0 5 2 - 5 8 6 - 2 6 6 6)

営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失の 計上に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第2四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）において、以下のとおり営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失を計上することとなりましたので、お知らせします。

1. 営業外収益の内容

2026年3月期第2四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）において、主に貸付先に対する短期貸付金の受取利息及び配当金として2百万円、飲食店舗の修繕に関する受取保険金4百万円及び飲食店舗の撤退による敷金及び保証金清算益4百万円を計上しました。

2. 営業外費用の内容

2026年3月期第2四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）において、銀行借入金利息およびリース債務に係わる支払利息として、支払利息71百万円を計上しました。

3. 特別利益の内容

2026年3月期第2四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）において、新株予約権付与対象者の退職による新株予約権戻入益3百万円を計上しました。

4. 特別損失の内容

2026年3月期第2四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）において、連結子会社である株式会社Kaihan Medicalにおけるのれんの減損損失1,248百万円を計上しました。これは、支援先である医療法人大美会による事業計画の変更及び外部環境の悪化により、当社が計画していた通りの収益を確保することが困難であると判断したためであります。しかしながら、経営支援は継続しており、大きく経営体質の改善を行うことで今後も長期に渡り当社の収益に貢献できると考えております。さらに、再生可能エネルギー事業における株式会社NEPAL HYDRO POWER HOLDINGSにおいても減損損失2,084百万円を計上しております。

当社は、株式交換による取得以来、現地との協議を進めてまいりましたが、昨今のネパール国内における情勢不安や、当社による資金調達の遅れから、事業の開始が遅れており、今後の資本効率をより有効にするためにも現時点において減損損失を計上し、事業の見直し再検討を行うためであります。

5. 業績に与える影響

上記、営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失につきましては、本日公表の「2026年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上